

日、九月末の同県議会に提出する補正予算案を発表したが、その中で同県出水、阿久根、長島など五地区の「隠れ水俣病」対策費として四百十万円を計上した。

同県の水俣病患者は二十一日現在、認定五（うち一人死亡）保留一、環境庁差し戻しによる再診査二、認定申請六、計十四人となっている。しかし出水、阿久根などの地区には潜在患者が相当数いるものとみている。同県の三十六年の調査でも住民の毛髪から水銀が検出されているため、同県は県議会が終わり次第、住民四万四千人にアンケート調査し、十二月には住民の一斉検査をする予定にしている。

隠れ水俣病の調査に410万円

鹿児島県が計上

【鹿児島】鹿児島県は二十一